

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と今後の取組について

日ごろから、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

本校では、保護者や地域の多くの方々から学びの場を支えていただきながら、学校目標「根：粘り強く取り組む」「智：正しいことに即して行動する」「和：協調してものごとに取り組む」を踏まえた様々な教育活動を展開してまいりました。今回、本校のよさを生かし、さらに充実・発展させるためには、今後、どのような視点を持ちながら授業づくり、環境づくり等に取り組んでいくことが大切なのか「全国学力・学習状況調査の結果」をもとに分析してまとめました。なお、全国学力・学習状況調査の結果で測定できるのは学力の特定の一部分であり、本校の教育活動の一側面であることが調査の実施要項に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただけますようお願いいたします。

この報告書をもとに、学校、保護者、地域の方々それぞれ子どもを中心に据えて課題や願いを共有し、力を合わせて子どもを育てていきたいと考えております。それぞれがこれまで取り組んできた活動を見直したり、新たにお互いが協力し合う活動を生みだしたりしていく中で、さらなる教育活動の充実を目指していけるよう取り組んでまいります。

今後とも保護者や地域の方々のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 1 調査結果の概要

#### (1) 教科に関する調査結果を基にした分析と課題

※○は概ね満足できる状況と考えられる内容 ●は改善を必要とする状況と考えられる内容

全国の結果を50とし、本校と全国の差を示したグラフです。

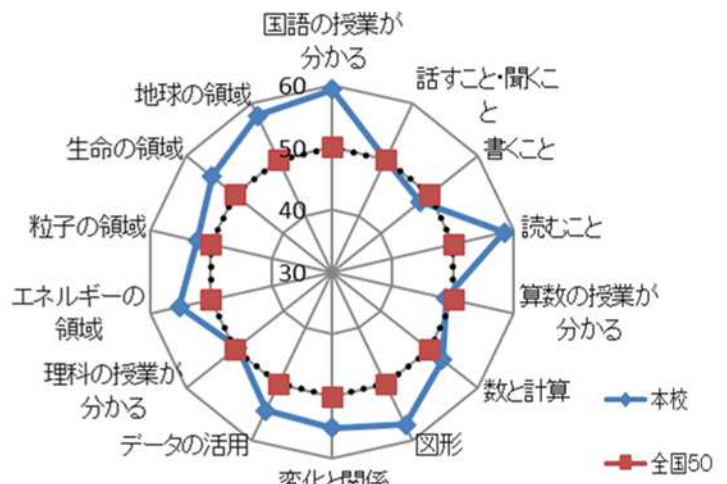
##### 【国語】

○説明文を読む問題…本校 75.0% (全国 66.6%)

全国平均を上回り、よい状況にあると捉えております。描写に着目して読み進めていくことや表現の仕方に着目して想像豊かに読むことを大切にきた授業に取り組んできた成果と考えております。

●漢字を正しく書く問題…本校 49.1% (全国 63.7%)

文章中のひらがなを漢字に書き直す3つの設問の平均正答率は49.1%であり、漢字を文の中で正しく使うことに課題があると捉えております。中でも「したしむ」を書く設問については、無回答も多くありました。習得した漢字を各教科等の授業や生活の中の様々な場面で意識的に使うよう指導の工夫を図り、漢字を正しく読んだり書いたりすることができるよう継続的に指導していきます。



##### 【算数】

○図形領域…本校 71.3% (全国 64.0%)

図形を構成する要素に着目して、長方形やひし形の意味や性質構成の仕方について理解しているかの設問では全国平均を上回りよい状況にあります。図形を構成する要素やそれらの関係に着目し、作図の仕方について筋道立てて考えることが重要です。子どもたちの気づきや考え、表現などを大切にしながら授業を進めている成果と考えております。

●目的に合った数の処理の仕方…本校 40.5% (全国 34.8%)

示された場面において目的に合った数の処理の仕方を考察する設問の正答率は40.5%と全国平均を上回っているものの、本校や全国的にも課題があります。日常生活において数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして概算できるようにすることが重要です。概数にする方法である切り上げ、切り捨て、四捨五入を日常生活の中でどの方法が適切かなど、知識をその場面に合うよう思考・判断して日常でどのように生かせるのか表現できるよう指導してまいります。

##### 【理科】

○「生命」を柱とする領域…本校 79.7% (全国 75.0%)

問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題解決の筋道を構想する設問はよい傾向にあります。児童が関心や意欲をもって対象と関わることにより自ら問題を見出し、見出した問題を解決するための見通しをもつ授業づくりを日頃から意識して努めてきた成果と考えております。

●問題に対するまとめから、その根拠を実験結果を基にして書く…本校 50.0% (全国 35.1%)

観察で得た結果を問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ選択肢の設問は比較的好い状況でしたが、記述することを問う設問の正答率は50%で課題と考えております。結果の具体的な数値や分析した内容などを根拠として表現する場面を設定することが大切であると捉えています。問題に対するまとめを行う際に、結果を具体的な数値として共有し、何を根拠としているのかを明らかにし、より妥当な考えをつくり出す活動の中で、自分で説明することができるよう指導の充実を図ります。

## (2) 質問紙調査結果を基にした分析と課題

※数値は「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の合計

「自尊感情」に関する領域では、「自分にはよいところがある」と回答した児童は82.7%とよい状況になっており、全国平均より上回っています。自分の力を学校行事や体験学習で発揮し、承認される機会を積極的に設けてきた成果と捉えております。

「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童は96%であり、良好な状況と捉えております。「自分の役割に責任をもち、最後まで前向きに取り組むことができる」を設定して、児童が集団の一員としての自覚をもち、互いの個性を尊重し合って協力する姿勢を育ててきた成果と考えております。様々な人々とのかかわる機会を通して、子どもたちに自信と思いやりの心を育てるようにしています。家庭でも、話題に出していただき一緒に話すことも大切であると考えます。

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの

使い方について家の人と約束したことを守っていますか」については全国平均を下回りました。ICT機器は便利なツールではありますが、発信者の意図と違った形で伝わってしまったり、ルールやマナーがルーズになってしまったりすることが考えられます。学校ではGIGA端末の活用を推進しているため、ICT機器のメリット、デメリットを児童、保護者様と共有しながら端末の活用も含めて確認していくことが大切であると考えます。

## 2 今後の取組 結果から次の視点をもとに今後の取組を計画し、進めてまいります。

### 自ら学びに向かう意欲をもち、基礎的な学力を確実に身に付ける

小テストやノート指導を丁寧に行うことで児童のつまづきを理解し、次の指導へと生かしていきます。「できるようになった」「やったらできた」ということを積み重ね、前向きに取り組んでいく意欲と自信をもたせていきたいと考えております。学習内容を確実に定着させるためには、家庭学習も大切になります。その日に学習した内容を宿題等で復習することやノート等を確認していただくことで定着していくことも多いです。学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実を進めていけるようにしてまいります。また、結果だけでなく、努力してやり遂げた過程などは、ぜひ認めてあげるようにしてください。

### 考えを効果的に発表する

自力で解決できる場面と友達と相談しながら考えを練り上げていく場面を設定し、相手の考えを聞き、自分の考えを伝えたいくなる学び合い学習を行います。そのために、学習課題に応じてペアやグループ活動等、多様な学習形態を用いた授業を実践していきます。地域等での学習や家庭でも、子どもが情報を集めたり、確かめたりすることや、相手の考えや立場を理解してく場面等を大切にいただき、子どもが自分の考えをしっかりとつ機会がつかれるようご協力よろしくお願いたします。

### 思いやりをもち、進んでかかわる子

道徳教育では「思いやり」に重点を置きながら人間関係づくりを行ってまいります。家庭でも思いやりの心や人とのかかわりを大切にする事等、家族関係や友達関係の中で心がけていただきますようお願いいたします。

また、体験活動等を実施し地域に生きる児童の育成を図ります。そのために、学校や学級で地域の出来事、新聞やニュースの話題を提供し、社会にも関心を向けるようにしていきます。家庭でも、地域や社会に関心をもち、子どもが広い視野をもってかかわることができるようご配慮をお願いいたします。

これらのことをご理解していただき、家庭、地域におきましても、子どもたちの思いやりの心を深め、人間関係づくりを意識した取組をよろしくお願いたします。

教育委員会から

玉川小学校では、日々の授業において取り組んでいることの成果として、児童の基礎学力の定着に繋がっています。毎時間の授業の展開等を工夫し、児童が主体的で対話的に深い学びが行われていることが伺えます。また、学習以外の教育活動でも、それぞれの児童が良いところを互いに認め合うことで、自信や思いやり等の自尊感情に繋がっています。

中原区・教育担当

本校 全国

自分にはよいところがある	82.7%	79.3%
夢や目標をもっている	88.0%	79.8%

本校 全国

自分でやると決めたことはやり遂げる	89.3%	87.2%
人が困っているときは、進んで助けている	96.0%	88.9%
いじめはどんな理由があってもいけない	98.6%	96.6%

本校 全国

学校へ行くのは楽しい	93.4%	85.4%
自分と違う意見について考えるのは楽しい	72.0%	73.5%
友だちと協力するのは楽しい	93.4%	94.0%

本校 全国

携帯電話・スマホやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている	65.4%	71.5%
---	-------	-------